

コマンドプロンプト

---

# ファイルとフォルダ(ディレクトリ)

- コンピュータの外部記憶装置(SSDやHDDなど)は、階層構造(木構造)をしています。
- 各種のデータは、ファイルとして保存されます。
- ファイルをまとめて管理するために、フォルダがあります。
  - フォルダはディレクトリとも呼ばれます。両方の呼称が登場しますが、同じものだと考えて問題ありません。
- 階層構造(木構造)の途中がフォルダ，末端がファイルです。

# コマンドプロンプトの命令: これだけは最低限知っておく

- dir

- カレントディレクトリにあるファイルの一覧を表示する.
  - ディレクトリ≡フォルダ
  - カレントディレクトリ=現在作業対象のディレクトリ

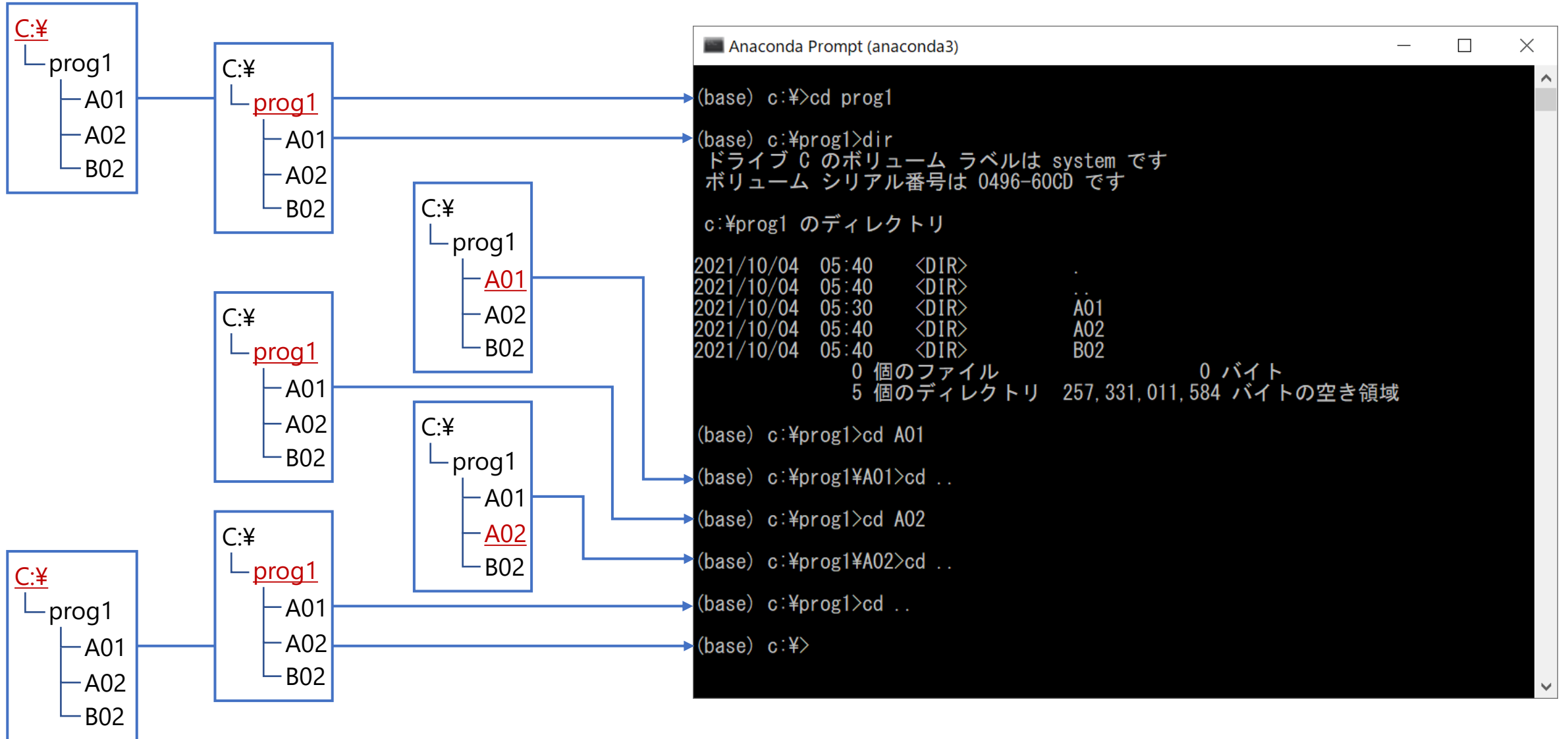
- cd ディレクトリ名

- カレントディレクトリを移動する.
- cd .. で、一つ上のディレクトリに戻る.
  - ピリオドが2つ

- python ファイル名

- pythonのプログラムを実行する.

# cdによるカレントディレクトリの移動例



# コマンドプロンプトの便利な技

- 矢印キーの上と下で，入力したコマンドの履歴を辿ることができる。
  - 毎回コマンドを打ち直さなくてよいので非常に便利。
- ファイル名やディレクトリ名は，途中まで入力してからTabキーを押すと，自動的に補完される。
  - 複数候補がある場合は，確定できるところまで補完され，続けて入力できる。
  - もう一度Tabキーを押すと，次の候補が表示される。
- コマンド `cls` で画面をクリアできる。
  - スクリーンショットを撮る前に，`cls`でクリアしてから，実行するとよい。